

# 2030年の未来へ 美術館とSDGs

～アート・コミュニケータがひらく持続可能な社会

2020年2月11日(火・祝)

2012年にとびらプロジェクトがスタートして、まもなく9年が経ちます。のべ300名を超えるアート・コミュニケータが個々の違いを超えて、アートを介して誰もが関わりあえる「創造と共生の場」をつくらうと取り組みを行ってきました。社会課題を意識したこのプロジェクトのあり方は、近年認知度が高まりつつある国際的な目標「SDGs(エスディーズ)」の潮流とも重なります。美術館は多様性を肯定し、対話を育み、人々が幸せに共に在る方法を、文化財を介して様々な実践してみる場所なのです。国連で採択されたSDGsは、一部の人々のみが発展し格差が開いていく時代に終わりを告げなければ、地球の未来が立ち行かなくなると警告しています。2030年に向けて私たちが目指す未来のひとつの形は「文化」という人々の共同の営みがつながる世界ではないでしょうか。今回のとびらプロジェクトフォーラムでは「2030年の未来へ 美術館とSDGs～アート・コミュニケータがひらく持続可能な社会」と題し、環境・人権・経済・教育・平和、あらゆる分野の垣根を超えて持続可能な社会を目指すSDGsの視点を切り口に、アート・コミュニケータのはたらきの価値や意義を振り返ります。キーワードは「アート・コミュニケータ」「持続可能性=サスティナビリティ」「ダイバーシティ」「共に在る」「アクション」。みなさまのご参加をお待ちしています。

SDGs:  
2030年に向けて世界が合意した「Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標」すべての人があらゆる垣根を超えて協力し、より良い未来をつくるための17の目標



## 参加申込方法

「とびらプロジェクト」ウェブサイト内の申込フォームからお申し込みください。 <https://tobira-project.info>

とびらプロジェクト 検索

お問い合わせ 東京都美術館 アート・コミュニケーション係 〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36 Tel: 03-3823-6921 メール: q-tobira@tobira-project.info

主催/公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、東京藝術大学

企画・運営/東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」

## 第一部

13:00～15:30 [開場: 12:30] 定員: 220名  
会場: 東京都美術館 講堂  
参加費無料、事前申込制(先着順) ※ 手話通訳あり  
※ UDトークによる文字表示支援あり

## とびらプロジェクトとは?

大谷郁 東京藝術大学美術学部 特任助手/とびらプロジェクト・コーディネータ

### トークセッション

未来を変えるSDGs  
世界をひらくアート・コミュニケータ



三ツ木紀英 NPO法人 芸術資源開発機構 (ARDA) 代表理事  
西村佳哲 / 稲庭彩和子 / アート・コミュニケータ

### パネルディスカッション

2030年の未来へ 美術館とSDGs  
～アート・コミュニケータがひらく持続可能な社会

- 日比野克彦 東京藝術大学美術学部長/岐阜県美術館 館長  
とびらプロジェクト代表教員
- 西村佳哲 働き方研究家/リビングワールド代表/  
とびらプロジェクト・アドバイザー
- 森司 アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課長/  
とびらプロジェクト・アドバイザー
- 稲庭彩和子 東京都美術館 学芸員 アート・コミュニケーション係長/  
とびらプロジェクト・マネジャー
- 伊藤達矢 東京藝術大学美術学部 特任准教授/  
とびらプロジェクト・マネジャー

## 第二部

15:45～17:00  
会場: 東京都美術館 アートスタディールーム  
参加費無料、事前申込不要

## オープンスペース・カフェ

「とびらプロジェクト」の活動拠点を公開し、参加者同士がフランクに対話できるカフェを開きます。また、パネリストやとびらラーがみなさまからのご質問にお答えし、とびらラーの普段の活動がわかる資料等をご覧いただくことができます。お気軽にお越しください。時間内はご自由に入退場いただけます。



「アート・コミュニケータ」をとびラーとよびます。

東京都美術館 × 東京藝術大学

40名 定員

# とびラー 募集!

締切 2020.2.18 (火) 消印有効



東京都美術館 × 東京藝術大学  
とびらプロジェクト

とびらプロジェクトとは、東京都美術館と東京藝術大学が連携して行っているソーシャルデザインプロジェクトです。

# とびらプロジェクトとは？



とびらプロジェクトは  
アートを通して人々の中に  
新しい価値を育む活動を  
推進しています。

人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、美術館に集まる多種多様な人々とのコミュニケーションを大切にし、そこから創出される新しい価値を社会に届けることで、アートを介したコミュニティを育てていきます。今年も活動の主体となるアート・コミュニケーター(とびら)を40名募集します。東京都美術館と東京藝術大学と共に、あなたもアート・コミュニケーター(とびら)として活動に参加してみませんか。「とびら」の活動は、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家を中心としたプロジェクトチームがしっかりとサポートしていきます。

## 例えばこんな活動

- ・人々のつながりを大切にしたい新しい対話の場(コミュニティ)づくり
- ・本物の作品を通してコミュニケーションを育む鑑賞プログラム
- ・障害のある方など美術館に来館しづらい方々を対象とした特別鑑賞会の開催
- ・建築家・前川國男が設計した東京都美術館の建築を活用したツアー
- ・美術館を活用して、自ら学び考えることを育む鑑賞授業の実施(学校との連携)
- ・上野公園に広がる9つの文化施設をつなぐ活動の推進(「Museum Start あいうえの」との連動)

## 応募条件

- 18歳以上の方(2020年4月1日現在、高校生を除く)で、日本語で日常会話ができる方
- 美術または美術館に関心があり、積極的に学び、活動意欲のある方
- 東京都美術館のミッション(使命)と東京藝術大学からのメッセージを理解し、共感して活動できる方
- 2020年4月～6月の基礎講座全6回に原則として全て参加可能な方
- 2020年7月以降、月2回以上の活動に参加可能な方
- パソコンなどでのEメール送受信が可能な方

## 活動条件

- アート・コミュニケーターの活動は無償です。交通費、謝礼等の支給はありません。ただし、講座及び随時開催される研修に無料で参加できます。
- アート・コミュニケーターの登録期間は1年間とします。次年度以降は本人ととびらプロジェクト双方の合意のうえ、登録更新し、最長3年間とします。
- とびらプロジェクトのウェブサイト等を読んだり、Eメールでの連絡ができること。

## 活動場所

東京都美術館および、東京藝術大学など。

## 応募方法

- 以下の書類を郵送してください。
- 応募用紙：<アート・コミュニケーター応募用紙>に必要事項を記入してください。  
※「とびらプロジェクト」ウェブサイトよりダウンロードしてください。 <https://tobira-project.info>
- 課題：A4用紙1枚(記載様式自由)
- 返信用封筒1通：定形封筒(長形3号)に84円切手を貼付の上、宛先欄に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。
- 郵送の際には、封筒の表面に「アート・コミュニケーター応募書類在中」と朱記してください。
- 応募受付期間：2020年1月20日(月)～2月18日(火) 消印有効



## 東京都美術館のミッション

東京都美術館は、「アートへの入口」となることを目指します。展覧会を鑑賞する、子供たちが訪れる、芸術家の卵が初めて出品する、障害のある人も何のためらいもなく来館できる美術館となります。訪れた人が、新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、「生きる糧としてのアート」に出会える場とします。これらを実現することで、東京都美術館が人びとの「心のゆたかさの拠り所」となるようにします。

## 東京藝術大学からのメッセージ

アートを介したコミュニティづくりは、作品を創造する人、そしてそれを享受する人を含め、人びとのクリエイティブな力が活躍する社会をつくることにつながります。東京藝術大学は、芸術の基本である「もの」としての作品に加えて、「こと」としての芸術に取組み、市民が芸術に親しむ機会の創出に努め、芸術をもって社会に貢献します。

募集人数 40名

## 日程

### 応募受付期間

2020年  
1月20日(月)  
|  
2月18日(火)  
消印有効

### 1次選考

### 書類審査

選考結果は  
2020年2月28日(金) 発送で  
応募者全員にお知らせします。

### 2次選考

### 面接審査

2020年  
3月13日(金)～15日(日)  
のいずれか1日

選考結果は  
2020年3月24日(火) 発送で  
2次選考対象者全員にお知らせ  
します。

### 1次選考

アート・コミュニケーターに応募する動機と、その背景になっているあなたにとって重要な体験について述べてください。美術館の体験でも、美術館の体験でなくてもかまいません。

(A4用紙1枚にまとめ、必ず氏名を記入してください。記載様式は自由ですがA4規格外の用紙使用や裏面への記載は選考対象となりませんのでご注意ください。)

\*2次選考の面接はアート・コミュニケーターの活動をウェブサイトや参考図書等でご覧いただいていることを前提に行います。

### 参考図書



「美術館と大学と市民がつくるソーシャルデザインプロジェクト」  
とびらプロジェクト編  
青幻舎 1,600円+税

全国の書店やインターネット書店で発売中

とびらプロジェクトの活動についてはウェブサイトをご確認ください。 → とびらプロジェクト 検索

関連ウェブサイト「Museum Start あいうえの」 → あいうえの 検索

## 書類郵送先

東京都美術館 アート・コミュニケーター募集担当宛 〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36

※一度提出していただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。 ※応募者の個人情報は、アート・コミュニケーターの選考に関すること以外には一切使用しません。

## 講座内容

### 基礎講座

日程：2020年4月11日、25日、5月9日、23日、  
6月6日、20日(すべて土曜日、午前10時～午後3時予定)

場所：主に東京都美術館 アートスタディールーム(交流棟2階)  
内容：美術館での活動についてや対話の場づくり、作品を通じたコミュニケーションとはどのようなものかを学びます。新しいコミュニティづくりにつながる基礎的な物事の方考え方をディスカッションやワークショップなどの参加形式で深めていきます。

### 実践講座

2020年7月から実践講座を開講します。詳細は受講者に対して別途ご連絡します。



基礎講座の様子



「マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展」  
東京都美術館